

川上澄生美術館 探検隊



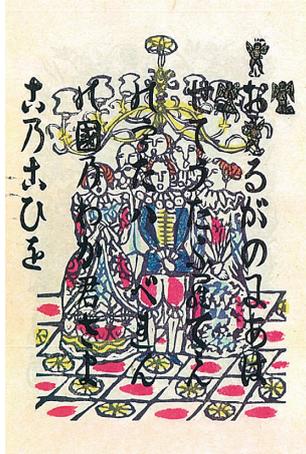
展覧会やイベントをお知らせします。

絵本の謎を探検せよ！

今回は現在開催中の「川上澄生 戦時下の創作」展に出品している絵本『南蛮竹枝』の謎を探検してみましよう。

澄生は、太平洋戦争中の絵の具や紙が手に入りにくい状況下でも、友人たちの助けを借り、たくさん絵本を作りました。中でも『南蛮竹枝』は、木版画の上から文字を重ねるといった風変わった仕立てです。これでは、絵も文字も見づらくなってしまうのに、なぜこのよつな作品になったのでしょうか。

調査の結果、「絵の中に音楽の要素を取り入れたかった」という答えに辿り着きました。その結論づける理由は2つ。



川上澄生 『南蛮竹枝』(部分)
1944年 木版墨刷 手彩色 紙

まず1つ目は、絵本の題名「竹枝」が、「民謡」の意味を持つこと。2つ目は、絵本の最後のページに合唄とオルガンの絵があること。これらが絵の上の文字が歌であることをにおわせる仕掛けになっています。

澄生は学生の頃から音楽をこよなく愛していました。戦時中でも、実験的な作品を作り続けた澄生の自由な精神が感じられる作品です。

学芸員 原田敏行

美術館からのお知らせ

川上澄生美術館 ☎(62)8272

●「川上澄生 戦時下の創作」展

とき 9月29日(日)まで

ところ 2階 展示ホール

入場料 一般 3000円

高校・大学生 2000円

小・中学生 1000円

●同時開催「木版画大賞セレクション

木版・あらかると展」

とき 9月4日(水)～29日(日)

ところ 1階 展示ホール

入場料 無料

わたしたちは「放送」・「通信」サービスを通して、地域の皆様とのふれあいを大切にします。



かめまチャンネル

光インターネット

多チャンネル放送

固定電話

携帯電話

鹿沼ケーブルテレビ

U R L ▶ <http://www.bc9.ne.jp>
E-mail ▶ bc9@bc9.ne.jp

TEL.63-0005

財源確保のために広告を掲載しています。

再生紙を使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。